

# プラスチック時代を終わらせるために

2022/12

ガイエブスキー レア

国際環境NGOグリーンピース・ジャパン / Greenpeace Japan



# グリーンピース・ジャパンの紹介

## ■世界に広がるグリーンピース

地球規模のネットワークと機動力を生かし、国境を越えて活動を展開しています。

●グリーンピース・インターナショナル(本部 オランダ/アムステルダム)  
リーガール(法律)ユニット(ベルギー/ブリュッセル)

●グリーンピース・ルクセンブルグ ●グリーンピース・北欧  
デンマーク / ノルウェー  
●グリーンピース・オランダ ●フィンランド / スウェーデン  
●グリーンピース・ベルギー ●グリーンピース・キリシヤ  
●グリーンピース・UK ●グリーンピース・イタリア  
●グリーンピース・フランス ●グリーンピース・スペイン  
●グリーンピース・ドイツ ●グリーンピース・チェコ  
●グリーンピース・スイス



“地球に良いこと”が特別なことではなく、日々の暮らしやビジネス、あるいは政策決定の場で、当たり前のよう実践されていく。そんな社会を実現するために、グリーンピース・ジャパンは、科学的根拠に基づいた確度の高い提案と、徹底した現場主義を軸に、“行動するNGO”として環境への想いを同じにする日本中の人々と共に、気候変動に脅かされることのない多様で平和な未来をめざします。

## 個人からの寄付のみ(政府・企業から独立)

- ❖ 世界300万人の寄付者
- ❖ 世界55以上の国・地域で活動
- ❖ 船を3隻 保有
- ❖ 世界中に2500人以上のスタッフ
- ❖ 平和的 direct action
- ❖ 東京オフィスは30年以上の歴史



# リサイクルの現状

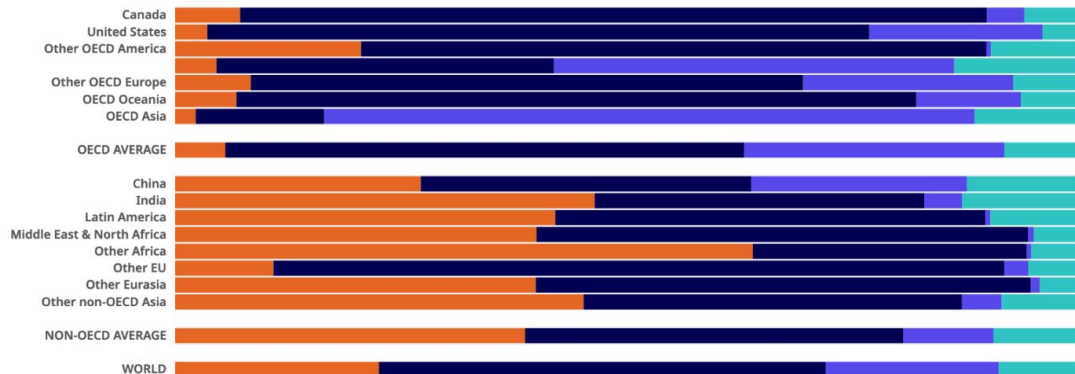
OECDによれば、世界全体でたったの9%しかリサイクルされていない一方、不適切に処理されたものは22%を超える。

橙:不適切に処理されたもの 紺:埋め立て 青:焼却処分 水色:リサイクル

## Globally, only 9% of plastic waste is recycled while 22% is mismanaged

Share of plastics treated by waste management category, after disposal of recycling residues and collected litter, 2019

■ Mismanaged & uncollected litter ■ Landfilled ■ Incinerated ■ Recycled



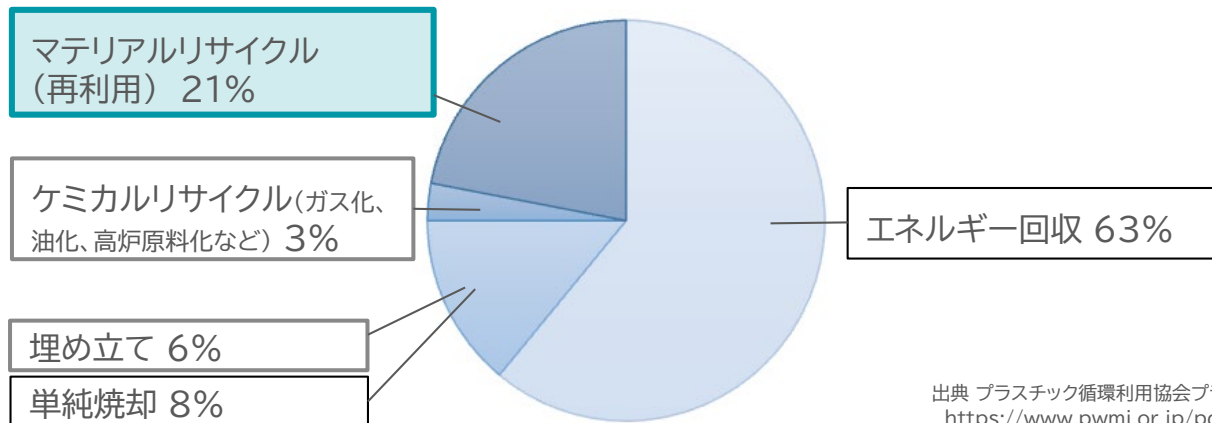
Source: OECD Global Plastics Outlook Database



写真:マレーシアのプラウ・インダ(2018)

# リサイクルの現状

国内処理のマテリアルリサイクルは約10%程度



出典 プラスチック循環利用協会プラスチックリサイクルの基礎知識2022  
<https://www.pwmi.or.jp/pdf/panf1.pdf> (2020年のデータ)

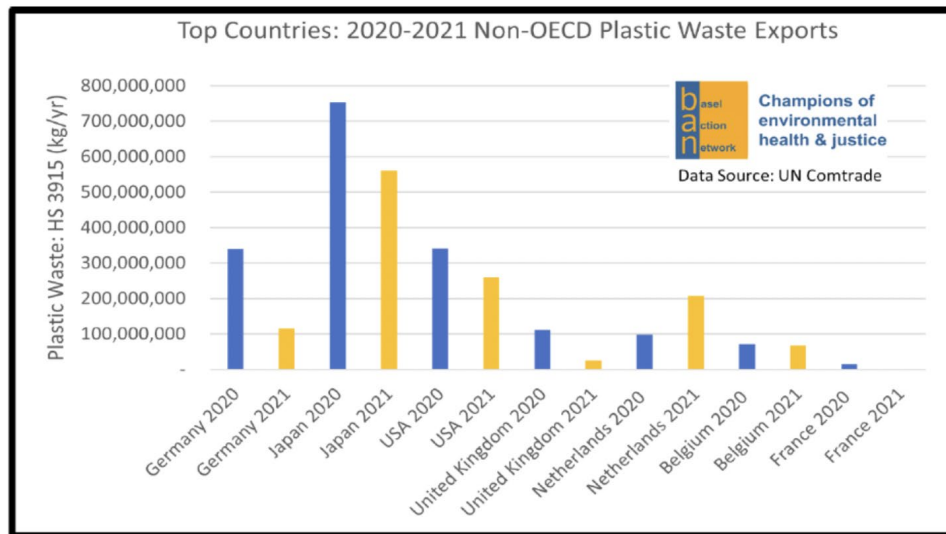
マテリアルリサイクルは回収された廃プラスチックのうち、**21%**

**21%の半分近くが海外へ輸出され「リサイクル」されたことになっている**

→ほとんどがダウンサイクルされている

# 海洋汚染は途上国の廃棄物問題？

先進国からの廃プラスチック輸出もさることながら、プラスチックのサプライチェーンで利益を得る企業は先進国に集中



2020年・2021年の先進国による非OECD諸国への廃プラスチック輸出量を示したグラフ  
Basel Action Network (2022)

Figure 11: 日本の廃プラスチック輸出(2010-2020)

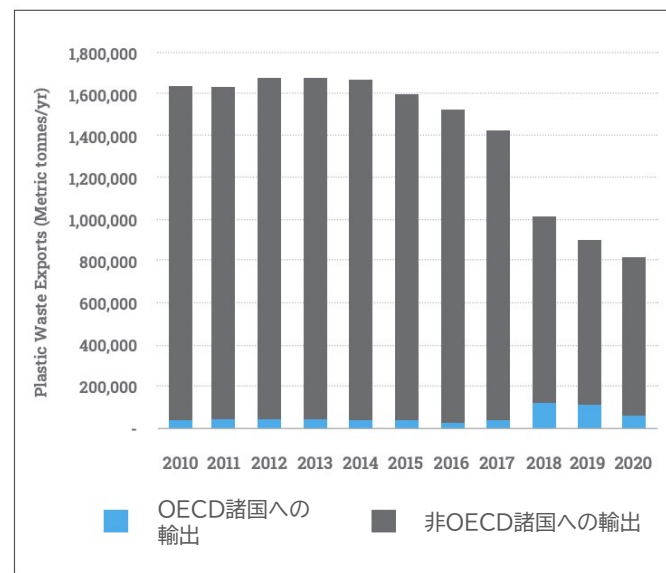


Figure 11: Japan's plastic waste exports (2010-2020)



# 報告書「日本のカフェ業界における使い捨てカップの現状」

(2022年7月13日 発表)









- 9つの大手カフェチェーンを対象に、主に以下を調査
  - 使い捨てカップ(紙・プラ)の2020年の消費量
  - リユース比率(全飲料販売の内、リユースの割合)
- 調査対象チェーン
  - スターバックスコーヒージャパン
  - タリーズコーヒー
  - プロント
  - ドトールコーヒーショップ
  - エクセルシオールカフェ
  - 上島珈琲店
  - カフェベローチェ
  - カフェドクリエ
  - コメダ珈琲店



# 報告書・結果

表2

日本の大手カフェチェーン9社が2020年に販売した使い捨てカップの総数（単位：百万個）とその総量（単位：トン）。使い捨てカップの総数は、イートインとテイクアウトについて、それぞれ紙カップとプラスチックカップの内訳も示す。（各チェーンから提供された情報はグレー部分）

企業名	テイクアウト (単位：百万個)		イートイン (単位：百万個)		使い捨てカップの総数 (単位：百万個)		使い捨て カップの総 量 (単位： トン)
	プラス チック	紙	プラス チック	紙	グリーンピース により計算	カフェチェーン により計算	
 スターバックスコーヒー ジャパン	97.8	50.4	44.3	39.3	231.7	-	1626.7
 タリーズコーヒー	16.9	11.8	22.8	21.0	72.5	-	544.0
 プロント	4.3	2.6	28.3	0.0*	35.3	-	320.4
 ドトールコーヒーショップ	13.5	8.6	0.0*	0.0*	22.2	約15.3	239.1
 カフェベローチェ	0.8	0.6	1.3	0.9	3.7	-	32.5
 エクセルシオールカフェ	1.2	0.5	0.4	0.3	2.4	-	28.4
 上島珈琲店	0.6	0.4	0.0*	0.0*	1.0	0.4	10.7
 カフェドクリエ	0.5	0.3	0.0*	0.0*	0.8	-	6.9
 コメダ珈琲店	0.0*	0.0*	0.0*	0.0*	0.0*	1.7	0.0*

- 9チェーン合計で**3億6,950万個**  
(2,808.8トン)
- スターバックスコーヒーは**2億3,170万個**(1,626.7トン)  
→その他8チェーン合計よりも多い量
- 9チェーンのイートインが100%リユースになった場合
  - 推定**1億5,860万個** (1,220.1トンのごみ削減)

# スタバ、タリーズ、プロントの利用客全国1000人に意識調査

(2022年9月30日 発表)

図7. 使い捨てのドリンクカップは日本のカフェチェーン(大手9社)合計で1日約100万個消費され、ごみになっていますが、これを大幅に減らす必要があると思いますか？

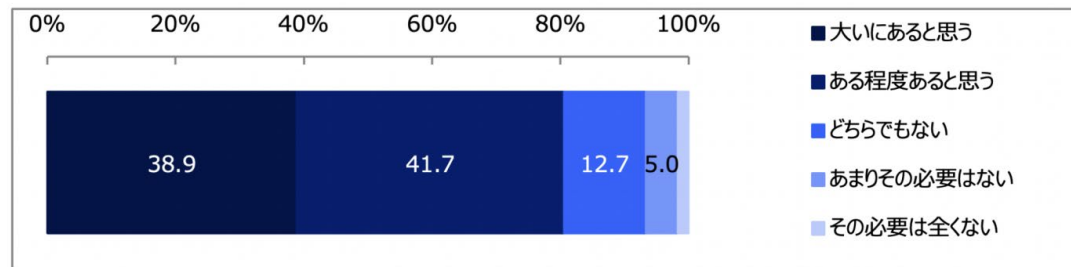
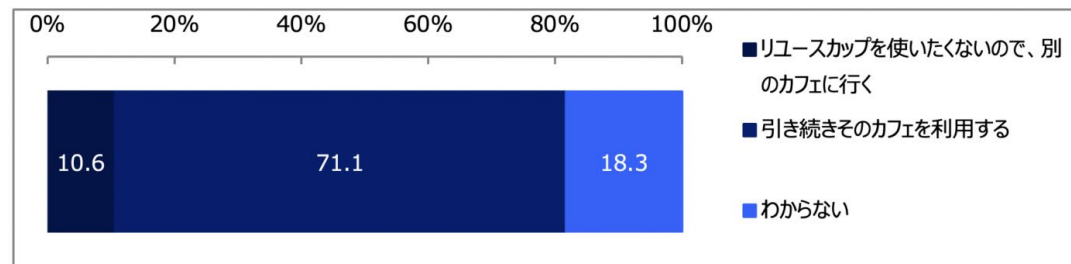


図3. 店内利用時、使い捨てカップの提供が無くなり、リユースカップのみでの利用になった場合、そのカフェの利用についてどう考えますか？







©Juan Pablo Mayol / Greenpeace 斗々屋京都本店



© Chihiro Hashimoto / Greenpeace

## ソリューション

---

- リサイクルで乗り切ることはいできない
- 不要または問題のある使い捨てプラスチックの段階的廃止
- 大規模な汚染業者の責任を追及
- プラスチックの生産と使用を制限
- リサイクルではなくリユース・リフィルのシステムを構築

ご清聴ありがとうございました！

**GREENPEACE**